

スクエアfreeセミナー第123回
ジャックインザボックス・トーク

Oracle Java ライセンス現状

konekto

Konekto

OSS専業ベンダー

- PHP 2000年からサポートおよびライセンス販売
- MySQL 2003年からサポートおよびライセンス販売
- Cassandra 2012年からサポート提供
- Oracle Java 2020年から公共機関向けにライセンス販売



これ以降のプレゼン内容は、2021年10月21日現在の状況を説明したものです。

Oracle Java ライセンスの現状

2018年9月(Oracle JDK 11)から、商用利用が有償となりました。

リリース	リリース日(GA)	EOL	無償利用範囲
7	2011年7月	2022年7月	無償利用は 非商用・開発用途のみ
8	2014年3月	2020年12月	
9 (non-LTS)	2017年9月	2018年3月	
10 (non-LTS)	2018年3月	2018年9月	
11 (LTS)	2018年9月	2026年9月	
12 (non-LTS)	2019年3月	2019年9月	
13 (non-LTS)	2019年9月	2020年3月	
14 (non-LTS)	2020年3月	2020年9月	
15 (non-LTS)	2020年9月	2021年3月	
16 (non-LTS)	2021年3月	2021年9月	
17 (LTS)	2021年9月		

無償提供 Java

- **Amazon Corretto** <https://aws.amazon.com/jp/corretto/>
- **Zulu Enterprise** <https://jp.azul.com/products/zulu-enterprise/>
- **Microsoft Build of OpenJDK** <https://msopenjdk.azurewebsites.net/>
- **AdoptOpenJDK** <https://adoptopenjdk.net/>



ユーザーを呼び込む戦略

Oracle社の方針転換

- 2021年9月にOracle Java 17リリースとライセンス変更が発表になりました。
- Oracle Java 17 から**NFTC**(Oracle No-Fee Terms and Conditions)となり、
*3年間無償で使用できるようになります。
- Oracle Java 17より前のバージョンは、
従来どおり有償ライセンスとなります。

*次のLTSが2年でリリースの場合



今後のリリース見込み

- Oracle社は、コミュニティへLTSを3年から2年に変更する提案をしています。

リリース	リリース日(GA)	EOL	無償利用範囲
17 (LTS)	2021年9月	2029年9月	次のLTSリリース後1年間無償利用可能
18 (non-LTS)	2022年3月	2022年9月	次のnon-LSTリリースまで無償利用可能
19 (non-LTS)	2022年9月	2023年3月	
20 (non-LTS)	2023年3月	2023年9月	
21 (LTS)	2023年9月	2031年9月	次のLTSリリース後1年間無償利用可能
22 (non-LTS)	2024年3月	2024年9月	次のnon-LSTリリースまで無償利用可能
23 (non-LTS)	2024年9月	2025年3月	
24 (non-LTS)	2025年3月	2025年9月	
25 (LTS)	2025年9月	2033年9月	次のLTSリリース後1年間無償利用可能

NTCFおよびOTN for Java SEの関係

